

1 全体像	2・3 大戦の始まり	4・5 ロシア革命	6・7 国際協調	8・9 アジア	10～13 大正の政治	14～16 文化・まとめ
-------	------------	-----------	----------	---------	-------------	--------------

1 この単元の全体像 ― 大戦は、世界と日本をどう変えた？

このページのゴール
 大戦の始まりから普通選挙法までの流れと、学ぶ6つのことを、ざっとと言える

中2では、日本が日清戦争・日露戦争に勝ち、列強（強い国々）の仲間入りをしたことを学びました。20世紀の初め、ヨーロッパの列強どうしの争いから、世界の多くの国をまきこむ大きな戦争が起こりました。この戦争は、世界のしくみも、日本の政治や人々の生活も大きく変えました。1914年から、1925年の普通選挙法（ふつうせんきょほう）までを学びます（大正時代は1912～1926年）。

1914年	1915年	1917年	1918年	1919年	1920年	1922年	1923年	1925年
第一次世界大戦が始まる（2）	二十一条の要求（3）	ロシア革命（4）	米騒動（こめそうどう）・大戦が終わる（5・10）	ベルサイユ条約・三・一独立運動（6・8）	国際連盟（6）	全国水平社（すいへいしゃ）（12）	関東大震災（しんさい）（15）	普通選挙法・ラジオ放送（13・14）

世界

ロシア革命

国際協調

民族運動

第一次世界大戦
1914～1918年

日本

日本の参戦

大戦景気

米騒動

政党内閣

普通選挙

新しい文化

① 大戦の始まりと日本の参戦 くわしくは2・3ページ

なぜ戦争が広がり、日本が参戦したかを学びます。

② ロシア革命と大戦の終わり くわしくは4・5ページ

ロシアで起こった革命と、大戦の終わり方を学びます。

③ 国際協調の時代 くわしくは6・7ページ

大戦の後、世界が平和を守るためにしたことを学びます。

④ アジアの民族運動 くわしくは8・9ページ

朝鮮・中国・インドで起こった運動を学びます。

⑤ 大正デモクラシー くわしくは10～13ページ

民衆が政治に参加するようになる流れを学びます。

⑥ 新しい文化と生活 くわしくは14・15ページ

大正時代の文化と、都市のくらしの変化を学びます。

この単元の問い
 第一次世界大戦は、世界と日本をどう変えた？（答えは16ページ）

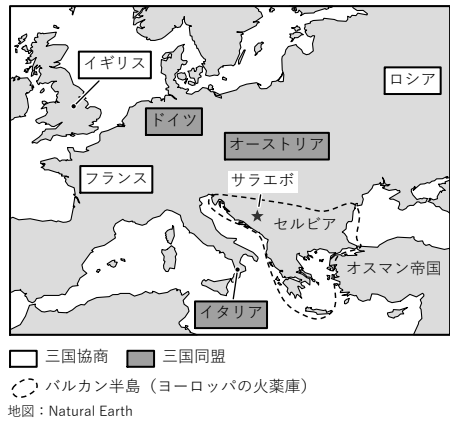
この単元の解説記事（図と例題つき）：[かてきょノート \(katekyo-note.com\)](https://katekyo-note.com/%e3%80%90e4%b8%ad3%e7%a4%be%e4%bc%9a%e3%83%bb%e6%ad%b4%e5%8f%b2%e3%80%91e7%ac%ac%e4%b8%80%e6%ac%a1%e4%b8%96%e7%95%8c%e5%a4%a7%e)
<https://katekyo-note.com/%e3%80%90e4%b8%ad3%e7%a4%be%e4%bc%9a%e3%83%bb%e6%ad%b4%e5%8f%b2%e3%80%91e7%ac%ac%e4%b8%80%e6%ac%a1%e4%b8%96%e7%95%8c%e5%a4%a7%e>

2 なぜヨーロッパで、世界をまきこむ戦争が起こった？

このページのゴール 三国同盟と三国協定の国々、「ヨーロッパの火薬庫」とよばれたわけ、サラエボ事件から大戦に広がった流れを言える

① 2つのまとまりの対立

中2で学んだ帝国主義（列強が植民地を広げようと争った）の続きです。



まとまり	国	できた年
三国同盟（どうめい）	ドイツ・オーストリア・イタリア	1882年
三国協定（きょうしょう）	イギリス・フランス・ロシア	1907年までに

おくれで力をのばしたドイツが植民地を求め、イギリスやフランスと対立しました。2つのまとまりは、軍備を強めながら対立しました。

バルカン半島（はんとう）＝ヨーロッパの南東の半島。オスマン帝国の力が弱まり、いくつもの民族が独立を求めて争った。ロシアとオーストリアも勢力をのばそうとし、いつ戦争が起きてもおかしくないので、「ヨーロッパの火薬庫」とよばれた

② サラエボ事件から大戦へ

- 1914年6月、オーストリアの皇太子夫妻が、**サラエボ**で、セルビアの青年に暗殺（あんさつ）された（**サラエボ事件**）
- オーストリアがセルビアに宣戦する
- セルビアを助けるロシア、ロシアと協定を結ぶフランス・イギリス、オーストリアと同盟を結ぶドイツが、味方として次々に加わる
- 第一次世界大戦**（1914～1918年）になる

連合国	イギリス・フランス・ロシア・日本など。のちにイタリア（1915年。もとは三国同盟）、アメリカ（1917年）も
同盟国	ドイツ・オーストリア・オスマン帝国など

注意 × 第一次世界大戦は、セルビアとオーストリアの2つの国だけの戦争だった → ○ 同盟や協定で結びついた国々が次々に加わった

合言葉 「同盟と協定、火薬庫に火がついた」

→ まとめ：列強の対立と民族の対立が重なり、一つの事件から世界大戦に広がった

3 大戦はどんな戦争だった？ 日本はなぜ参戦した？

このページのゴール 総力戦の意味と新しい兵器、日本が日英同盟を理由に参戦したわけ、二十一か条の要求の中身を言える

① 総力戦と新しい兵器

総力戦（そうりょくせん）＝兵士だけでなく、国民・経済・資源のすべてを戦争に注ぎこむ戦争。男性が戦場へ行き、女性が兵器工場などで働き、植民地の人々も兵士や労働者として集められた

戦車・飛行機・毒ガス・潜水艦・機関銃が使われるようになり、死傷者がとても多くなりました。ヨーロッパでは、**塹壕**（ざんごう。兵士が身をかくすために地面にほったみぞ）にこもって撃ち合う戦いが続き、戦争が長引きました。



第一次世界大戦で使われた戦車
（イギリスの戦車博物館）

写真：Morio（CC BY-SA 4.0）。Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

② 日本の参戦と二十一か条の要求

- ① 1914年8月、**日英同盟**（1902年。中2で学んだ）を理由に、イギリスと同じ連合国側で参戦する
- ② ドイツの拠点だった中国の**山東省**（さんとうしょう。青島など）と、太平洋の**南洋諸島**（なんようしゅう。赤道より北のドイツ領の島々）を占領する
- ③ 1915年、中国（中華民国。中2で学んだ）に**二十一か条の要求**を出す
- ④ 軍隊の力を背景に、大部分を認めさせる
- ⑤ 中国の人々の反発が強まる（→ 9ページの五・四運動）

二十一か条の要求＝山東省のドイツの権益（けんえき。国が外国でもっていた特別な権利）を日本が引きつぐことなどを、中国に求めた要求

日本のねらいは、ヨーロッパの国々がアジアに力を向けられないうちに、中国で勢力を広げることでした。また、ヨーロッパの国々の商品がアジアの市場から消えると、日本の商品がアジアで売れるようになりました（→ 10ページの大戦景気）。

注意 ×日本は、ヨーロッパの戦場で、ドイツ軍と大きな戦いを続けた → ○日本のおもな戦いは、中国の山東省や太平洋の島々にあるドイツの拠点を占領することだった

合言葉 「日英同盟で参戦、中国に二十一か条」

→ まとめ：総力戦で戦争が長引く中、日本は中国での勢力を広げた

4 戦争中のロシアで、何が起きた？

このページのゴール ロシア革命が起きたわけと流れ、レーニンとソビエトの政府、社会主義の考え、ソ連の成立を言える

① ロシア革命の流れ

- ① 総力戦（3ページ）で戦争が長引き、食料や燃料が足りなくなって、民衆の不満が高まる
- ② 1917年3月、労働者や兵士が立ち上がり、皇帝が退位する（帝政がたおれる）
- ③ 11月、レーニンの指導する勢力が、労働者や兵士の代表会議（ソビエト）を中心とする政府をつくる = 世界で初めての社会主義の政府
- ④ 1918年、ドイツと単独で講和（こうわ。戦争をやめる約束を結ぶこと）して、戦争から退く
- ⑤ 1922年、ソ連（ソビエト社会主義共和国連邦）が成立する

② 社会主義とは？

社会主義 = 土地や工場などを、個人ではなく社会全体（国）のものにして、平等な社会をめざす考え

	資本主義	社会主義		革命の前	革命の後
土地や工場	持ち主（資本家）のもの	社会全体（国）のもの	治める人	皇帝	ソビエトの政府
めざすもの	資本家が利益を得るしくみ	平等な社会	土地と工場	地主や資本家のもの	社会全体（国）のもの
			戦争	続ける	ドイツと講和して退く

③ ロシアとドイツ、同じところは？

国	年	起こったこと	その後
ロシア	1917年	革命が起こり、皇帝が退位した	ソビエトの政府ができ、戦争から退いた
ドイツ	1918年	革命が起こり、皇帝が退位した（くわしくは5ページ）	降伏し、大戦が終わった

同じところは、長い総力戦で国民の生活が苦しくなり、皇帝の国がたおれたことです。

注意 × ロシア革命では、皇帝のもとで議会の力が強くなった → ○ 皇帝が退位し、労働者や兵士の代表会議（ソビエト）を中心とする、世界で初めての社会主義の政府ができた

合言葉 「パンと平和を求めて、レーニンの革命」

→ まとめ：総力戦の苦しみから革命が起こり、世界で初めての社会主義の国ができた

5 ロシア革命に、世界はどう対応した？ 大戦はどう終わった？

このページのゴール 各国がロシア革命をおさえようとしたわけ、シベリア出兵、アメリカの参戦、大戦の終わりと帝国がたおれたことを言える

① 各国の対応とシベリア出兵

4ページで、ロシアに社会主義の政府ができたことを学びました。これを見た他の国々は、どう動いたのでしょうか。

- ① 革命が自分の国に広がると、皇帝や資本家の支配がゆらぐと考える
- ② 革命をつぶそうとして、軍隊を送る（干渉〈かんしょう〉戦争）
- ③ 1918年、日本・アメリカ・イギリス・フランスなどが、シベリアに軍隊を送る

シベリア出兵＝1918年、日本・アメリカ・イギリス・フランスなどがシベリアに軍隊を送ったこと。日本は最も多くの兵を送り、ほかの国が引き上げた後も1922年まで残り、国内外から批判された

② アメリカの参戦と大戦の終わり

アメリカの参戦（1917年） ドイツの潜水艦がアメリカなどの船もしずめるようになり、アメリカが連合国側で参戦しました。連合国が有利になりました。

大戦の終わり（1918年11月） ドイツで革命が起こって皇帝が退位し、ドイツが降伏しました。大戦の前後で、ロシア・ドイツ・オーストリア・オスマン帝国の皇帝の国（帝国）がたおれました。

年	できごと
1914	サラエボ事件・日本の参戦
1915	二十一か条の要求・イタリアが連合国側に
1917	ロシア革命・アメリカの参戦
1918	シベリア出兵・ドイツの降伏

年表の読み方 1917年には、ロシア革命とアメリカの参戦が同じ年に起こっています。ロシアは革命で戦争から退く方向へ向かい、アメリカは連合国側に加わりました。1918年には、日本がシベリア出兵を行い、ドイツが降伏しました。年表は、同じ年のできごとを並べて、つながりを考えると読みやすくなります。

ヨーロッパは戦場となり、兵士だけでなく多くの市民が死に、国土が荒れました。二度と大きな戦争を起こさないための国際協調へ向かいます（→6・7ページ）。

注意 ×シベリア出兵は、ドイツと戦うための出兵だった → ○ロシアの革命が広がるのをおさえるための出兵だった

合言葉 「革命をおさえに、シベリアへ」

→ まとめ：大戦は帝国がたおれて終わり、被害の大きさから国際協調を求める動きが生まれた

6 大戦の後、世界はどうやって平和を守ろうとした？①

このページのゴール ペルサイユ条約の中身、民族自決、国際連盟のしくみと弱点を言える

① ペルサイユ条約と民族自決

5ページの大戦の被害を受けて、1919年に開かれたパリ講和会議（こうわかいぎ）で、ペルサイユ条約が結ばれました。

国	条約で決まったこと
ドイツ	すべての植民地と、本国の一部の領土を失う／ばく大な <u>賠償金</u> （ばいしょうきん。戦争の損害をつぐなうお金）を課される／軍備を縮小させられる
日本	山東省のドイツの権益を引きつぐ／南洋諸島を国際連盟から任されて治める

民族自決（みんぞくじけつ）＝それぞれの民族が、自分たちの国のあり方を、自分たちで決めるべきだという考え。アメリカのウィルソン大統領がとなえ、東ヨーロッパでは多くの国が独立した。しかし、アジアやアフリカの植民地には当てはめられなかった（→ 8・9ページ）

② 国際連盟

国際連盟（れんめい）＝ウィルソンの提案をもとにつくられた、世界の平和と国際協調を目的とする初めての国際機関

発足	1920年。42か国
本部	スイスの <u>ジュネーブ</u>
常任理事国	イギリス・フランス・イタリア・日本（じょうにんりじこく）
日本人の活躍	<u>新渡戸稲造</u> （にとべいなぞう）が事務局次長（事務局の長を助ける役）として活躍した



国際連盟の本部として建てられた建物（スイス ジュネーブ）
写真：Yann Forget (CC BY-SA 3.0)。Wikimedia Commonsより、白黒にして切り取った

国際連盟の弱点 ① 提案したアメリカは、議会の反対で加盟しなかった ② ドイツやソ連は、初めは加盟できなかった ③ 決まりを破った国への制裁は、貿易を止めるなどの経済的な制裁が中心で、軍事力による制裁はできなかった ④ 決定には全会一致が原則だった（第二次世界大戦の後につくられた国際連合とは別の組織）

注意 × 国際連盟は、提案したアメリカが中心となってつくられ、本部はニューヨークに置かれた → ○ アメリカは議会の反対で加盟せず、本部はスイスのジュネーブ

合言葉 「連盟はジュネーブ、アメリカはいない」

→ まとめ：大戦の被害をくり返さないため国際連盟がつくれ、民族自決の考えが広まった

7 大戦の後、世界はどうやって平和を守ろうとした？②

このページのゴール ワシントン会議で決めたこと、国際協調と軍縮、大戦の後に民主主義と女性の選挙権が広まったわけ、ワイマール憲法を言える

① ワシントン会議と軍縮

6ページの国際連盟のほかにも、大戦の後は、軍備を減らす話し合いが進みました。

いつ	1921～22年（ <u>ワシントン会議</u> ）
よびかけた国	アメリカ
決めたこと	海軍の主力艦（大きな軍艦）の数を制限した（ワシントン海軍軍縮条約）／中国の独立と領土を尊重する／太平洋地域の現状を守る条約を結び、日英同盟は解消された／日本は山東省の権益を中国に返した

軍縮（ぐんしゅく）＝軍備を減らすこと。1920年代は、列強が協調して戦争をさけようとした「国際協調」の時代で、日本も欧米と協調する外交を進めた

② 民主主義の広まり

- ① 総力戦で国民全体が戦争に協力する（女性も工場などで働いた）
- ② 国民の発言力が強まる
- ③ 選挙権が広がる
- ④ 女性の選挙権が認められる（イギリスは1918年に30歳以上、アメリカは1920年）

ワイマール憲法＝1919年にドイツで定められた憲法。男女の普通選挙（納税額などで選挙権を制限しない選挙）と、人間らしい生活を送る権利を初めて定めた憲法として知られる

	大戦の前	大戦の後
国と国の関係	同盟どうしが対立	国際連盟で協調・軍縮
政治	皇帝の力が強い国が多い	帝国がたおれ、民主主義が広まる
選挙権	男性の一部が中心	女性にも広がる

国際連盟とワシントン会議のちがい 国際連盟（6ページ）は、世界の平和と国際協調を目的とする国際機関です。ワシントン会議は、アメリカのよびかけで開かれた、軍縮などを話し合う会議で、そこで結ばれた条約で主力艦の数が制限されました。

注意 ×ワシントン会議では、日英同盟を強めることが決められた → ○日英同盟は解消された

合言葉 「軍縮と協調、選挙権は女性にも」

→ まとめ：大戦の反省から国際協調と軍縮が進み、民主主義が広まった

8 大戦の後、朝鮮の人々はどんな運動を起こした？

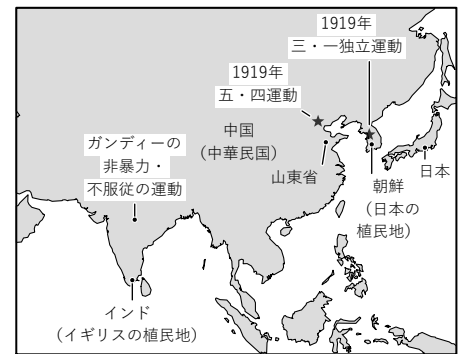
このページのゴール アジアで民族運動が高まったわけ、日本の植民地支配と三・一独立運動の流れ、その後の日本の対応を言える

① アジアの人々の願いと朝鮮

アジアの人々の願い

- 大戦中、植民地の人々も戦争に協力した
- 民族自決の考えが伝わり、独立を求める運動が高まった
- しかし、民族自決はアジアの植民地には当てはめられなかった（6ページ）

朝鮮は、1910年の韓国併合（中2で学んだ）から日本の植民地でした。日本は朝鮮総督府（ちょうせんそうとくふ）を置き、軍隊や警察の力で支配し、朝鮮の人々の土地を取り上げることもありました。



地図：Natural Earth

② 三・一独立運動

- ① 1919年3月1日、京城（けいじょう。今のソウル）で、朝鮮の人々が独立宣言を読み上げ、「独立万歳」とさけぶ
- ② 運動は朝鮮全土に広がる
- ③ 朝鮮総督府は軍隊や警察を使ってしずめ、多くの死者が出る
- ④ その後、日本は武力で取りしめるやり方を少し改めたが、植民地の支配は続く

三・一独立運動＝1919年3月1日に京城で始まり、朝鮮全土に広がった、朝鮮の人々が独立を求めた運動

③ 日本の植民地拡大とのつながり

日本は、韓国併合・二十一か条の要求・山東省の権益の引きつぎなどで、アジアに勢力を広げていました。アジアの民族運動は、日本にも向けられました。

注意 × 民族自決の考えにもとづき、大戦の後、朝鮮の独立が認められた → ○ 民族自決はアジアの植民地には当てはめられず、朝鮮は日本の植民地のままだった

合言葉 「3月1日、独立万歳」

→ まとめ：民族自決はアジアの植民地には当てはめられず、朝鮮でも独立を求める運動が起こった

9 中国とインドでは、どんな運動が起こった？

このページのゴール 五・四運動が起こったわけ、孫文と中国国民党、インドのガンディーの非暴力・不服従の運動を言え、朝鮮・中国・インドの運動をくらべられる

① 中国の五・四運動

中国では、3ページの二十一条の要求で反発が強まっていました。

- ① パリ講和会議で、山東省のドイツの権益を日本が引きつぐことが認められる
- ② 1919年5月4日、北京の学生たちが反対して立ち上がる
- ③ 日本の商品を買わない運動などが全国に広がる

五・四運動=1919年5月4日、北京の学生たちの反対から全国に広がった、反日・反帝国主義（外国の支配や進出に反対する）の運動

孫文（そんぶん。中2で学んだ辛亥革命の中心）は、1919年に**中国国民党**をつくり、国の統一をめざしました。1921年には中国共産党もつくられました。

② インドの非暴力・不服従

- ① 大戦中、イギリスは戦後の自治（自分たちで治めること）を認めると約束する
- ② 戦後、約束は守られず、民族運動が取りしまられる
- ③ **ガンディー**（ガンジー）が運動を指導し、完全な自治（独立）を求める
- ④ イギリスの製品を買わず、自分たちで布を織る運動などが広がる

非暴力・不服従（ひぼうりょく・ふふくじゅう）=暴力を使わずに、イギリスの法律や命令に従わないで抵抗する

③ 3つの運動をくらべる

	朝鮮	中国	インド
反対した相手	日本の植民地支配	日本の山東省の権益の引きつぎ	イギリスの支配
年	1919年	1919年	大戦の後
運動と中心	三・一独立運動（京城）	五・四運動（北京の学生）	ガンディーの運動
方法	独立宣言・「独立万歳」	日本の商品を買わない運動	非暴力・不服従

注意 × ガンディーは、軍隊を組織してイギリスと戦い、独立を勝ち取った → ○ 非暴力・不服従の運動で、完全な自治（独立）を求めた（独立は第二次世界大戦の後）

合言葉 「北京の学生、インドのガンディー」

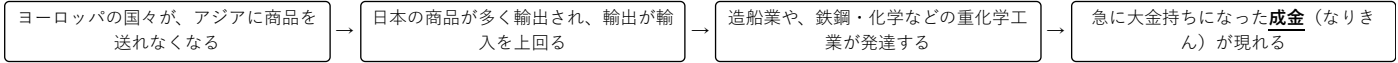
→ まとめ：民族自決の考えと日本の勢力拡大が、アジアの民族運動を強めた

10 大戦中の日本で、民衆はどう動いた？

このページのゴール 第一次護憲運動、大戦景気で何が発達し何が苦しくなったか、米騒動の流れと結果を言える

第一次護憲運動（ごけんうんどう）＝1912～13年、藩閥（はんぱつ。中2で学んだ）の桂太郎が首相になると、尾崎行雄や犬養毅らが「憲法にもとづく政治を守れ」とうったえ、民衆も加わって帝国議会を取り囲んだ。桂の内閣は2か月ほどで退陣した

① 大戦景気と、苦しい民衆の生活



大戦景気＝1915～18年ごろ、日本が好景気になったこと。工業の生産額が農業の生産額を上回った

でも、民衆の生活は苦しくなりました。物の値段（物価）が大きく上がったのに、働く人の給料（賃金）の上がり方が、それにおくれたからです。

考え方の例（数は架空） Gさんの給料が前の1.5倍になっても、米の値段が前の2.5倍になれば、給料で買える米は前の0.6倍（6割）になります（ $1.5 \div 2.5 = 0.6$ ）。グラフを読むときは、物価の線と賃金の線の上がり方をくらべます。

② 米騒動

- ① 大戦景気で、物価が上がる
- ② シベリア出兵を見こして、商人などが米を買い占める（あとで高く売るために買いこむ）
- ③ 米の値段が急に上がる
- ④ 富山県の漁村の女性たちが、米の安売りを求めて米屋などにおしやる
- ⑤ 新聞で伝わり、全国に広がる

米騒動＝1918年、米の値段が急に上がり、米の安売りを求めて富山県から全国の都市や農村・炭鉱に広がった騒ぎ。政府は軍隊でしずめ、寺内正毅（てらうちまさたけ）内閣は責任をとって退陣した

注意 × 好景気になったので、民衆の生活はだれでも楽になった → ○ 物価が大きく上がり、賃金がそれに追いつかない人々の生活は苦しくなった

合言葉 「好景気でも、米は買えない」

→ まとめ：大戦景気で工業は発達したが、物価の上がり方で民衆は苦しみ、米騒動が起こった

11 原敬の内閣は、なぜ「本格的な政党内閣」とよばれる？

このページのゴール 原敬の政党内閣が本格的とされるわけと平民宰相、選挙権の引き下げ、大正デモクラシーと吉野作造の民本主義を言える

① 原敬の政党内閣

10ページの米騒動で寺内内閣が退陣した後、1918年に首相になったのが原敬です。

政党内閣＝議会で多数をしめる政党の党員が中心となつてつくる内閣

原敬は、衆議院で最も議席の多い立憲政友会（中2で学んだ）の総裁でした。陸軍・海軍・外務の3つの大臣のほかは、すべて立憲政友会の党員だったので、初めての本格的な政党内閣とよばれます。原は爵位（しゃくい。華族の位）をもたず、衆議院に議席をもつ首相だったので、「**平民宰相**」（さいしょう）とよばれました。選挙権の条件を、直接国税10円以上から3円以上に引き下げました（1919年）が、普通選挙には慎重でした。原は1921年に暗殺されました。

	藩閥の内閣	政党内閣
中心になる人	藩閥の政治家（桂太郎など）	議会で多数をしめる政党の党員（原敬など）
大臣	藩閥の人が中心	3つの大臣のほかは政党の党員
国民の考えとのつながり	反対する護憲運動が起こった	衆議院の議席（選挙の結果）にもとづく

② 大正デモクラシーと民本主義

大正デモクラシー＝大正時代を中心に、民主主義（デモクラシー）を求める考えや動きが広まった風潮

民本主義（みんぽんしゅぎ）＝**吉野作造**（よしのさくぞう）が主張した考え。主権が天皇にあるという大日本帝国憲法のもとでも、政治の目的は民衆の幸福にあり、政治は民衆の考えにもとづいて決めるべきだとした。そのために、普通選挙で選ばれた議会と政党内閣が必要だと主張した

美濃部達吉（みのべたつきち）の天皇機関説は、主権は国家にあり、天皇は国家の最高の機関として憲法に従って国を治める、という考えで、政党内閣を支える考えとされました。

注意 ×民本主義は、主権を天皇から国民に移すことを主張した考えだった → ○主権が天皇にある憲法のもとで、政治は民衆の考えにもとづいて行うべきだとした考え（国民が主権をもつという考えとはちがう）

合言葉 「米騒動のあと、平民宰相の政党内閣」

→ まとめ：民衆の力が強まり、政党内閣と大正デモクラシーの風潮が生まれた

12 大正時代、人々はどんな権利を求めて運動した？

このページのゴール 5つの社会運動を、だれが何を求めたかで言える

① 広がる社会運動

大戦景気で工場で働く人が増え、物価が上がって生活は苦しくなり、ロシア革命や民主主義の広まりも伝わって、社会運動が広がりました。

労働争議（ろうどうそうぎ）＝働く人（労働者）が、賃金の引き上げや労働時間の短縮などを求めて、会社と争うこと。**小作争議**（こさくそうぎ）＝小作人（地主から土地を借りて耕す農民）が、地主に小作料（借りの代金）の引き下げなどを求めて争うこと

運動	だれが	何を求めた	できた団体と年
労働争議	労働者	賃金の引き上げ・労働時間の短縮	1920年 日本初の メーデー （5月1日。労働者の祭典）
小作争議	小作人	小作料の引き下げ	1922年 日本農民組合
女性運動	女性	女性の解放	1911年 青鞥社／1920年 新婦人協会
部落解放運動	被差別部落の人々	差別からの解放	1922年 全国水平社
アイヌの人々の運動	アイヌの人々	差別をなくし、地位の向上	1930年 北海道アイヌ協会

平塚らいてう（ひらつからいちょう）は、1911年に**青鞥社**（せいとうしゃ）をつくり、雑誌『青鞥』で「元始、女性は実に太陽であった」と書いて、女性の解放をうったえました。1920年には、**市川房枝**（いちかわふさえ）らと新婦人協会をつくり、女性が政治の集会に参加できるようにする運動を進めました。



雑誌『青鞥』の創刊号の表紙（1911年）
絵：長沼智恵子（著作権切れ）。
Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

② 「解放令」から水平社へ

中2で学んだ1871年の「解放令」の後も、被差別部落への差別は続きました。

全国水平社＝1922年、京都で、被差別部落の人々が、自分たちの力で差別からの解放をめざしてつくった団体。水平社宣言は「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と結ばれている

注意 × 全国水平社は、労働者が賃金の引き上げを求めてつくった団体である → ○ 被差別部落の人々が、自分たちの力で差別からの解放をめざしてつくった団体

合言葉 「働く人も、小作人も、女性も、立ち上がる」

→ まとめ：民衆が、それぞれの願いを求めて社会運動を広げた

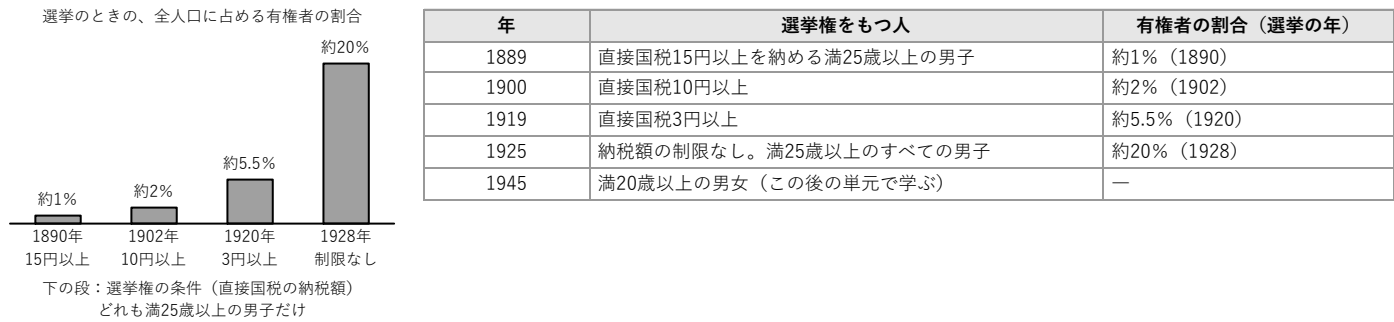
13 選挙権はどう広がった？ 政府は何をおそれた？

このページのゴール 普通選挙法で選挙権をもった人、同じ年の治安維持法のねらいを言える

① 第二次護憲運動と普通選挙法

1924年、政党が第二次護憲運動を起こし、選挙で勝った憲政会の加藤高明（かとうたかあき）が首相になりました。その内閣のもとで、1925年に普通選挙法が成立しました。

普通選挙法＝1925年、満25歳以上のすべての男子に、衆議院議員の選挙権をあたえた法律。有権者は約4倍に増えた。女性の選挙権は認められなかった



② 治安維持法

治安維持法＝1925年、共産主義（社会主義の考えの一つ）などの、天皇を中心とする国のしくみ（国体）や私有財産のしくみを変えようとする運動を取りしめる法律

	普通選挙法	治安維持法
はたらき	選挙権を広げる	運動を取りしめる
対象・ねらい	満25歳以上のすべての男子が対象	同じ年にソ連と国交を結び、普通選挙で労働者などの政治への影響が大きくなるので、社会主義の考えが広まることをおそれた

1924年から1932年まで、衆議院で多数をしめる政党の党首が首相となって内閣をつくることが続きました（「憲政の常道」）。できごとを年の順に並べた図や年表の空らんは、前後のできごとと年から考えます。

注意 × 1925年の普通選挙法で、満25歳以上の男女に選挙権があたえられた → ○ 女性は認められず、満25歳以上の男子だけだった（女性は1945年から）

合言葉 「25歳以上の男子に選挙権、同じ年に治安維持法」

→ まとめ：民衆の力で男子の普通選挙が実現したが、同時に運動の取りしまりも強まった

14 大正時代、文化はどのように広がった？

このページのゴール 教育の広がりメディア（新聞・雑誌・円本・ラジオ・映画）、大衆文化、大正から昭和の初めの文学を言える

① 教育の広がりで大衆文化

小学校に通う子どもはほぼ全員になり、中学校・高等女学校に進む人や、大学で学ぶ人も増えました。

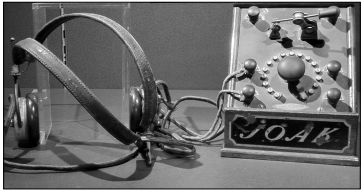
- ① 教育が広がる
- ② 字を読める人が増える
- ③ 新聞・雑誌・本を読む人が増える
- ④ ラジオ・映画も加わる
- ⑤ 大衆文化が広がる

大衆文化＝一部のだけでなく、一般の民衆（大衆）が楽しむ文化

② メディアの発達

メディア	ようす
新聞	発行部数が増えた
雑誌	総合雑誌・週刊誌・子ども向けの雑誌がたくさん出された
円本	1冊1円の全集（えんぽん）が売られた
ラジオ	1925年に放送が始まった
映画	映画（活動写真）が人気になった

ラジオ放送＝1925年に始まった。家にいながら、全国の人が同じニュースや音楽、野球の中継などを聞けるようになった



1925年ごろのラジオ
（博物館の展示）
写真：Ysuke Kawasaki (CC BY 2.0)。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

③ 大正から昭和の初めの文学

作家	作品・特色
芥川龍之介	『羅生門』などの短編小説（あくたがわりゅうのすけ）
志賀直哉	白樺派（しらかばは）の作家
小林多喜二	労働者の生活をえがいたプロレタリア文学。『蟹工船』

注意 × 大正時代の文化は、一部の華族や富豪だけが楽しむ文化だった → ○ 教育とメディアの広がり、一般の民衆が楽しむ大衆文化が広まった

合言葉 「読めるから広がる、大衆の文化」

→ まとめ：教育とメディアの広がり、民衆が楽しむ大衆文化が広まった

15 都市の人々のくらしは、どう変わった？

このページのゴール 都市化とサラリーマン・職業婦人、生活の洋風化（洋服・洋食・文化住宅・電灯）、関東大震災と復興を言える

① 都市化と働く人

14ページで学んだ文化は、都市を中心に広がりました。東京や大阪などの大都市に人口が集まり（都市化）、会社で働くサラリーマン（会社員）が増えました。

職業婦人＝バスの車掌・タイピスト・電話交換手など、仕事をもって働く女性

② 生活の洋風化

	ようす
服	洋服を着る人が増えた
食べ物	カレーライスやコロッケなどの洋食が広まった
住まい	都市の郊外に、洋風の応接間をもつ住宅が建てられた
あかり・水	電灯・水道・ガスが都市の家庭に広がった
交通・店	都心と郊外の住宅地を結ぶ電車が走り、駅にはデパート（百貨店）ができた

文化住宅＝都市の郊外に建てられた、洋風の応接間をもつ住宅

洋風のくらしが広まったのは大都市が中心で、農村では昔からのくらしが多く残っていました（働く人の多くは、まだ農業や農村の仕事についていました）。



関東大震災でこわれた建物
（東京 浅草・1923年）
写真：作者不明
（パブリックドメイン）。
Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

③ 関東大震災

関東大震災は、1923年9月1日に関東地方で起こった大きな地震です。東京や横浜では火災が広がって、大きな被害が出ました。混乱の中で、「朝鮮人が暴動を起こす」などのうわさが広まり、多くの朝鮮人や中国人が殺害される事件が起きました。社会主義者が殺害される事件もありました。その後の復興で、鉄筋コンクリートの建物や広い道路がつくられ、街並みが変わりました。

注意 ×大正時代には、日本中のくらしが洋風になった → ○洋風のくらしが広まったのは東京や大阪などの大都市が中心で、農村では昔からのくらしが多く残っていた

合言葉 「洋服・洋食・文化住宅」

→ まとめ：都市の生活が洋風になり、関東大震災の復興で街並みも変わった

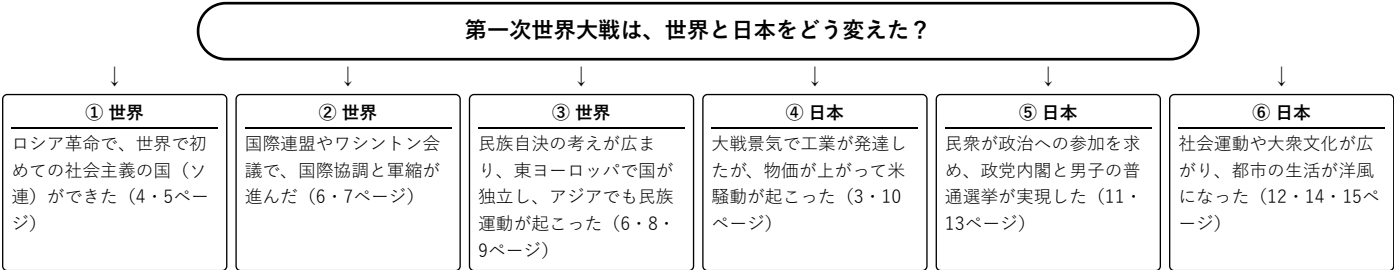
16 第一次世界大戦は、世界と日本をどう変えた？

このページのゴール 2～15ページを、大戦の原因とクラゲチャートでつないで、1ページの問いに答えられる

① 大戦の原因

- ① 列強の植民地争いと、三国同盟・三国協定の対立（2ページ）
- ② バルカン半島の民族の対立（2ページ）
- ③ 1914年のサラエボ事件から、国民全体を巻きこむ総力戦へ（2・3ページ）

② クラゲチャート



③ 年表

年	できごと	年	できごと
1914年	第一次世界大戦が始まる	1920年	国際連盟
1915年	二十一条の要求	1921～22年	ワシントン会議
1917年	ロシア革命	1922年	全国水平社
1918年	米騒動・大戦が終わる	1923年	関東大震災
1919年	ベルサイユ条約・三・一独立運動・五・四運動	1925年	普通選挙法・治安維持法・ラジオ放送

④ 問いの答えの例

第一次世界大戦は、列強の対立とバルカン半島の民族の対立から始まり、国民全体を巻きこむ総力戦になりました。世界では、ロシア革命で社会主義の国ができ、大戦の後は国際連盟がつくられて国際協調が進み、民族自決の考えからアジアでも独立を求める運動が起こりました。日本では、大戦景気のあと米騒動が起こり、民衆の力を背景に政党内閣と普通選挙が実現し、社会運動や大衆文化が広がりました。

大正時代まで：大戦をきっかけに、世界でも日本でも、民衆が力をもつ時代になった

確認問題① 大戦の始まり・ロシア革命・国際協調

答えと解説は21・22ページ（11枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 大戦の始まりと日本の参戦について答えなさい。【2・3ページ】

- (1) 第一次世界大戦のきっかけとなった事件を選びなさい。
ア 義和団事件 イ 江華島事件 ウ サラエボ事件 エ 甲午農民戦争 _____
- (2) 男性が戦場に送られ、女性が兵器工場で働き、植民地の人々も兵士として集められた。このように、国の力のすべてを注ぎこむ戦争を何といいますか。 _____
- (3) 第一次世界大戦で使われるようになった兵器に当てはまらないものを選びなさい。
ア 原子爆弾 イ 戦車 ウ 毒ガス エ 飛行機 _____
- (4) 日本が大戦中に占領した、太平洋の赤道より北のドイツ領の島々を何といいますか。 _____
- (5) 日本が1915年に中国に出した要求の内容として正しいものを選びなさい。
ア 日本が台湾を中国に返す イ 日本と中国が同盟を結ぶ
ウ 中国が日本に関税自主権を認めさせる エ 山東省のドイツの権益を日本が引きつぐ _____
- (6) 日本が連合国側で参戦した理由として正しいものを選びなさい。
ア ロシアと同盟を結んでいたから イ イギリスと日英同盟を結んでいたから
ウ 国際連盟の決定にしたがったから エ アメリカにたのまれたから _____
- (7) オーストリアとセルビアの争いが大戦になったのはなぜですか。「同盟」「味方」の2語を使って書きなさい。

2 ロシア革命と大戦の終わりについて答えなさい。【4・5ページ】

- (1) 1917年に起こったロシア革命の説明として正しいものを選びなさい。
ア 皇帝が議会をおさえ、戦争を最後まで続けた
イ 戦争が長引く中で皇帝が退位し、ソビエトを中心とする政府ができた
ウ フランス革命と同じ1789年に起こった エ 大戦に勝ったロシアで、国民が皇帝をたたえた _____
- (2) 土地や工場などを社会全体のものにして、平等な社会をめざす考えを何といいますか。 _____
- (3) シベリア出兵の目的として正しいものを選びなさい。
ア 中国のドイツの拠点をおさえるため イ 朝鮮の独立運動をおさえるため
ウ ロシアの革命が自分の国に広がるのをおさえるため エ 国際連盟の決定にしたがうため _____
- (4) 1917年にロシアで革命が起こったのはなぜですか。「戦争」「食料」の2つの語を使って書きなさい。

- (5) 第一次世界大戦の終わりについて正しいものを選びなさい。
ア 1918年、ドイツで革命が起こって皇帝が退位し、ドイツが降伏した
イ 1918年、ロシアが連合国の中心となってドイツをたおした ウ 1917年、日本が降伏した
エ 1920年、国際連盟の決定で戦争が終わった _____
- (6) 次のできごとを、古い順に並べなさい。
ア ロシア革命 イ 日本が大戦に参戦する ウ ドイツが降伏する エ 二十一か条の要求

3 国際協調の時代について答えなさい。【6・7ページ】

- (1) ベルサイユ条約でドイツに課されたことに当てはまらないものを選びなさい。
ア 国際連盟の常任理事国になる イ すべての植民地を失う
ウ ばく大な賠償金を支払う エ 軍備を縮小する _____
- (2) 民族が自分たちの国のあり方を自分たちで決めるべきだという考えを何といいますか。 _____
- (3) 国際連盟の説明として正しいものを選びなさい。
ア 第二次世界大戦が終わった後につくられた
イ 本部はスイスのジュネーブに置かれ、日本は常任理事国になった
ウ ドイツとソ連は、最初から加盟していた エ 決まりを破った国に、軍事力による制裁ができた _____
- (4) 国際連盟の事務局次長として活躍した日本人はだれですか。 _____
- (5) ワシントン会議で決められたこととして正しいものを選びなさい。
ア 国際連盟をつくるのが決められた イ ドイツの賠償金の額が決められた
ウ 海軍の主力艦の数を制限すると決められた エ 日本が山東省の権益を引きつぐと決められた _____
- (6) 男女の普通選挙と、人間らしい生活を送る権利を定めたドイツの憲法を何といいますか。 _____
- (7) 大戦の後、欧米で女性の選挙権が認められたのはなぜですか。「工場」「協力」の2語を使って書きなさい。

確認問題② アジアの民族運動・大正時代の政治

答えと解説は21・22ページ（11枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

4 アジアの民族運動について答えなさい。【8・9ページ】

- (1) 1910年から、日本が朝鮮を植民地として治めるために置いた役所を何といいますか。 _____
- (2) 1919年、パリ講和会議で山東省の権益の引きつぎが認められたことに、北京の学生が反対して始めた運動を何といいますか。 _____
- (3) 孫文が1919年につくった政党を選びなさい。
ア 中国共産党 イ 立憲政友会 ウ 中国国民党 エ 憲政会 _____
- (4) インドで、イギリスからの完全な自治を求める運動を指導した人物はだれですか。 _____
- (5) (4)の人物が指導した運動のやり方として正しいものを選びなさい。
ア 日本と同盟を結んでイギリスと戦った
イ 暴力を使わず、イギリスの法律や命令に従わないで抵抗した
ウ 国際連盟にうたがえて独立を認めさせた
エ イギリスの製品を多く買い、イギリスとの貿易を広げた _____
- (6) 大戦の後、インドでイギリスに反対する運動が強まったのはなぜですか。「自治」「約束」の2つの語を使って書きなさい。

5 大正時代の政治について答えなさい。【10・11ページ】

- (1) 藩閥の内閣に反対し、憲法にもとづく政治を守ろうとして、政党の政治家や民衆が起こした運動を何といいますか。 _____
- (2) 大戦中、日本が好景気になったわけとして正しいものを選びなさい。
ア 日本の農業の生産額が大きく増えたから
イ ヨーロッパの国々がアジアに商品を送れなくなり、日本の輸出が増えたから
ウ ロシアから多くの賠償金を得たから エ 国際連盟から資金を受け取ったから _____
- (3) 好景気で急に大金持ちになった人々を何といいますか。 _____
- (4) 大戦中の日本の産業について正しいものを選びなさい。
ア 官営模範工場がつくられ、製糸業が始まった
イ 石油化学コンビナートが各地につくられた
ウ 造船や鉄鋼などの重化学工業が発達し、工業の生産額が農業の生産額を上回った
エ 輸入が輸出を大きく上回り、工業がおとろえた _____
- (5) 原敬の内閣が「本格的な政党内閣」とよばれるわけとして正しいものを選びなさい。
ア 藩閥の政治家が大臣の中心だったから イ 普通選挙で選ばれた初めての内閣だったから
ウ 女性の大臣がいたから
エ 陸軍・海軍・外務のほかの大臣が、すべて衆議院の第一党の党員だったから _____
- (6) 原敬が「平民宰相」とよばれたのはなぜですか。「爵位」「衆議院」の2つの語を使って書きなさい。

- (7) 大正時代を中心に、民主主義を求める考えや動きが広まった風潮を何といいますか。 _____

確認問題 ③ 社会運動と選挙・新しい文化と生活・まとめ

答えと解説は21・22ページ（11枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

6 社会運動と選挙について答えなさい。【12・13ページ】

- (1) 小作争議で、小作人が求めたことを選びなさい。
ア 労働時間の短縮 イ 女性の選挙権 ウ 小作料の引き下げ エ 部落差別からの解放 _____
- (2) 1911年に青鞥社をつくり、女性の解放をうったえた人物を選びなさい。
ア 樋口一葉 イ 平塚らいてう ウ 与謝野晶子 エ 津田梅子 _____
- (3) 全国水平社の宣言の結びの言葉を選びなさい。
ア 元始、女性は実に太陽であった イ 憲政擁護
ウ 天は人の上に人を造らず エ 人の世に熱あれ、人間に光あれ _____
- (4) 日本で女性の選挙権が認められた年を選びなさい。
ア 1945年 イ 1890年 ウ 1925年 エ 1928年 _____
- (5) 1925年の法律で決められた、衆議院議員の選挙権をもつ人の条件として正しいものを選びなさい。
ア 満20歳以上のすべての男女 イ 直接国税3円以上を納める満25歳以上の男子
ウ 満25歳以上のすべての男子 エ 直接国税15円以上を納める満25歳以上の男子 _____
- (6) 1925年に、共産主義などの運動を取りしめるためにつくられた法律を選びなさい。
ア 治安警察法 イ 工場法 ウ 国家総動員法 エ 治安維持法 _____
- (7) 1924年から1932年まで、首相はどのように決められることが続きましたか。「衆議院」「政党」の2つの語を使って書きなさい。

7 新しい文化と生活について答えなさい。【14・15ページ】

- (1) 大正時代から昭和の初めの文化や生活として正しくないものを選びなさい。
ア 小学校に通う子どもが減り、字を読める人が少なくなった
イ ラジオ放送が始まった ウ 新聞や雑誌の発行部数が増えた
エ 洋服やカレーライスなどの洋食が広まった _____
- (2) バスの車掌やタイピスト、電話交換手として働く女性を何といいますか。 _____
- (3) 『羅生門』などの短編小説を書いた作家を選びなさい。
ア 小林多喜二 イ 夏目漱石 ウ 芥川龍之介 エ 樋口一葉 _____
- (4) 1923年9月1日に起こり、東京や横浜で火災が広がって大きな被害が出た災害を何といいますか。 _____
- (5) (4)の混乱の中で起きたこととして正しいものを選びなさい。
ア 富山県から全国に米の安売りを求める動きが広がった
イ 国会議事堂のまわりで安保条約への反対運動が起きた
ウ ラジオ放送が始まった
エ うわさが広まり、多くの朝鮮人や中国人が殺害される事件が起きた _____
- (6) ラジオ放送が始まったことで、人々のくらしはどう変わりましたか。「家」「同じ」の2つの語を使って書きなさい。

8 まとめについて答えなさい。【5・6・16ページ】

第一次世界大戦は、世界と日本をどう変えた？ ― クラゲチャートの足の一部

- ①世界：ロシア革命で、世界で初めての社会主義の国（ A ）が1922年にできた
- ④日本：（ B ）とよばれる好景気で工業が発達したが、物価が上がって米騒動が起こった

- (1) 上の文の A にあてはまる語を書きなさい。 _____
- (2) 上の文の B にあてはまる語を書きなさい。 _____
- (3) 第一次世界大戦の後、世界で国際協調が進められたのはなぜですか。「被害」「くり返さない」の2つの語を使って書きなさい。

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

大戦の始まりと日本の参戦（2・3ページ）

三国同盟（ドイツ・オーストリア・イタリア。1882年）と三国協商（イギリス・フランス・ロシア。1907年までに）が対立。バルカン半島＝ヨーロッパの火薬庫。1914年6月サラエボ事件→第一次世界大戦（1914～1918年）。連合国（イギリス・フランス・ロシア・日本など。イタリアは1915年、アメリカは1917年に参戦）と同盟国（ドイツ・オーストリア・オスマン帝国など）。総力戦（国民・経済・資源のすべてを注ぎこむ）。新しい兵器＝戦車・飛行機・毒ガス・潜水艦・機関銃、塹壕。日本は1914年に日英同盟を理由に参戦し、山東省・南洋諸島を占領。1915年二十一か条の要求（山東省のドイツの権益を日本が引きつぐこと）。

ロシア革命と大戦の終わり（4・5ページ）

1917年ロシア革命（皇帝が退位→レーニンの指導でソビエトを中心とする世界初の社会主義の政府）。社会主義＝土地や工場を社会全体のものにして平等をめざす。1918年ドイツと講和、1922年ソ連成立。1918年シベリア出兵（日本・アメリカ・イギリス・フランスなど。革命をおさえるため。日本は1922年まで）。1917年アメリカの参戦。1918年11月ドイツが降伏（ロシア・ドイツ・オーストリア・オスマン帝国の帝国がたおれる）。

国際協調の時代（6・7ページ）

1919年パリ講和会議→ベルサイユ条約（ドイツ：すべての植民地と領土の一部を失う・賠償金・軍備縮小／日本：山東省の権益を引きつぐ・南洋諸島を治める）。民族自決（ウィルソンがとなえる。東ヨーロッパで多くの国が独立、アジア・アフリカの植民地には当てはめられず）。国際連盟（1920年・ジュネーブ・42か国・常任理事国はイギリス・フランス・イタリア・日本・新渡戸稲造が事務局次長）。弱点＝アメリカ不参加・ドイツとソ連は初め加盟できず・経済的な制裁が中心・全会一致。ワシントン会議（1921～22年。アメリカのよびかけ。主力艦の制限・中国の独立と領土の尊重・日英同盟の解消・山東省の権益を中国に返す）。軍縮と国際協調。女性の選挙権（イギリス1918年・アメリカ1920年）。ワイマール憲法（1919年。男女の普通選挙と人間らしい生活を送る権利）。

年表（16ページ）

年	できごと	年	できごと
1914年	第一次世界大戦が始まる	1920年	国際連盟
1915年	二十一か条の要求	1921～22年	ワシントン会議
1917年	ロシア革命	1922年	全国水平社
1918年	米騒動・大戦が終わる	1923年	関東大震災
1919年	ベルサイユ条約・三・一独立運動・五・四運動	1925年	普通選挙法・治安維持法・ラジオ放送

合言葉

同盟と協商、火薬庫に火がついた／日英同盟で参戦、中国に二十一か条／パンと平和を求めて、レーニンの革命／革命をおさえるに、シベリアへ／連盟はジュネーブ、アメリカはいない／軍縮と協調、選挙権は女性にも／3月1日、独立万歳／北京の学生、インドのガンディー／好景気でも、米は買えない／米騒動のあと、平民宰相の政党内閣／働く人も、小作人も、女性も、立ち上がる／25歳以上の男子に選挙権、同じ年に治安維持法／読めるから広がる、大衆の文化／洋服・洋食・文化住宅

アジアの民族運動（8・9ページ）

三・一独立運動（1919年3月1日。京城。朝鮮全土に広がる。朝鮮総督府がしずめる）。五・四運動（1919年5月4日。北京の学生。山東省の権益の引きつぎに反対）。孫文と中国国民党（1919年）。インド＝ガンディーの非暴力・不服従（完全な自治を求める）。

大正時代の政治（10・11ページ）

第一次護憲運動（1912～13年。桂太郎の内閣が退陣）。大戦景気（1915～18年ごろ。重化学工業・成金。工業の生産額が農業を上回る）。物価が上がり賃金は追いつかず生活は苦しい。米騒動（1918年。富山県から全国へ。寺内正毅内閣が退陣）。原敬の政党内閣（1918年。立憲政友会・平民宰相・選挙権を3円以上に）。大正デモクラシー。吉野作造の民本主義（天皇に主権があっても、政治は民衆の考えにもとづく）。美濃部達吉の天皇機関説。

社会運動と選挙（12・13ページ）

労働争議（賃金・労働時間。メーデー1920年）・小作争議（小作料。日本農民組合1922年）・平塚らいてうと青鞥社（1911年）・市川房枝と新婦人協会（1920年）・全国水平社（1922年。水平社宣言）・北海道アイヌ協会（1930年）。第二次護憲運動（1924年）・加藤高明内閣。普通選挙法（1925年。満25歳以上のすべての男子。有権者は約4倍）・治安維持法（1925年）。政党内閣の時代（1924～1932年）。

年	選挙権をもつ人	割合
1889	15円以上・満25歳以上の男子	約1%
1900	10円以上	約2%
1919	3円以上	約5.5%
1925	制限なし・満25歳以上の男子	約20%

新しい文化と生活（14・15ページ）

教育の広がりに新聞・雑誌・円本・ラジオ放送（1925年）・映画→大衆文化。芥川龍之介・志賀直哉・プロレタリア文学（小林多喜二）。都市化・サラリーマン・職業婦人・洋服と洋食・文化住宅。農村では昔からのくらしが多く残る。関東大震災（1923年9月1日）。

確認問題の答えと解説

1【2・3ページ】

- (1) ウ (2) 総力戦
 - (3) ア (4) 南洋諸島
 - (5) エ (6) イ
 - (7) (例) オーストリアと同盟を結ぶ国と、セルビアを助ける国が、それぞれ味方として次々に戦いに加わったから。
- 1914年6月のサラエボ事件がきっかけです（義和団事件・江華島事件・甲午農民戦争は中2で学んだ別の事件です）。国民・経済・資源のすべてを戦争に注ぎこむ戦争が総力戦です。戦車・飛行機・毒ガスは大战で使われた兵器で、原子爆弾はふくまれません。日本が占領した太平洋のドイツ領の島々は南洋諸島です。二十一か条の要求は山東省のドイツの権益を日本が引きつぐことなどを求めたもので、日本は日英同盟を理由に参戦しました。記述の採点のめやす：「同盟」「味方」の両方を使って、結びついた国々が次々に加わったことが書けていれば正解。【2・3】

2【4・5ページ】

- (1) イ (2) 社会主義
 - (3) ウ
 - (4) (例) 戦争が長引いて、食料や燃料が足りなくなり、民衆の不満が高まったから。
 - (5) ア
 - (6) イ→エ→ア→ウ
- ロシア革命では、皇帝が退位し、レーニンの指導する勢力がソビエトを中心とする世界初の社会主義の政府をつくりました（フランス革命は1789年）。土地や工場を社会全体のものにして平等をめざす考えが社会主義です。シベリア出兵は、革命が自分の国に広がるのをおそれた国々が、革命をおさえるために行いました。大战は1918年11月、ドイツで革命が起こり皇帝が退位して降伏し、終わりました。並べかえは、1914年の参戦→1915年の二十一か条の要求→1917年のロシア革命→1918年のドイツの降伏の順です。記述の採点のめやす：「戦争」「食料」の両方を使って書けていれば正解。【4・5】

3【6・7ページ】

- (1) ア (2) 民族自決
 - (3) イ (4) 新渡戸稲造
 - (5) ウ
 - (6) ワイマール憲法
 - (7) (例) 総力戦で女性も工場などで働いて戦争に協力し、国民の発言力が強まったから。
- ドイツは植民地・領土の一部・賠償金・軍備で重い負担を課され、国際連盟には初め加盟できませんでした。国際連盟の本部はスイスのジュネーブで、日本は常任理事国になりました（アメリカは不参加、ドイツとソ連は初め加盟できず、軍事力による制裁もできませんでした）。ワシントン会議は海軍の主力艦の数を制限しました。山東省の権益は、日本が中国に返しました。記述の採点のめやす：「工場」「協力」の両方を使って書けていれば正解。【6・7】

4【8・9ページ】

- (1) 朝鮮総督府 (2) 五・四運動
 - (3) ウ (4) ガンディー
 - (5) イ
 - (6) (例) 大戦中にイギリスが戦後の自治を認めると約束したのに、守られなかったから。
- 韓国併合の後、日本は朝鮮を治める役所として朝鮮総督府を置きました。北京の学生が山東省の権益の引きつぎに反対して始めた運動が五・四運動です。孫文は1919年に中国国民党をつくりました。ガンディーは暴力を使わず、イギリスの法律や命令に従わない非暴力・不服従で、完全な自治を求めました。記述の採点のめやす：「自治」「約束」の両方を使って書けていれば正解。【8・9】

5【10・11ページ】

- (1) 護憲運動 (2) イ
 - (3) 成金 (4) ウ
 - (5) エ
 - (6) (例) 爵位をもたず、衆議院に議席をもつ首相だったから。
 - (7) 大正デモクラシー
- ヨーロッパの国々がアジアに商品を送れなくなり、日本の輸出が増えて好景気になりました。造船や鉄鋼・化学などの重化学工業が発達し、工業の生産額が農業の生産額を上回りました。原敬の内閣は、陸軍・海軍・外務のほかの大臣がすべて立憲政友会の党員だったので、本格的な政党内閣とよばれます。記述の採点のめやす：「爵位」「衆議院」の両方を使って書けていれば正解。【10・11】

6【12・13ページ】

- (1) ウ (2) イ
(3) エ (4) ア
(5) ウ (6) エ
(7) (例) 衆議院で多数をしめる政党の党首が、首相となって内閣をつくることが続いた。

小作争議で小作人が求めたのは小作料の引き下げです。青鞥社をつくったのは平塚らいてうで、「元始、女性は実に太陽であった」と書きました。水平社宣言は「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と結ばれます。女性の選挙権は第二次世界大戦の後の1945年です。1925年の法律は満25歳以上のすべての男子に選挙権をあたえました。同じ年に、共産主義などの運動を取りしめる治安維持法もつくられました。記述の採点のめやす：「衆議院」「政党」の両方を使って書けていれば正解。【12・13】

7【14・15ページ】

- (1) ア (2) 職業婦人
(3) ウ (4) 関東大震災
(5) エ
(6) (例) 家にいながら、全国の人が同じニュースや音楽を聞けるようになった。

教育が広がり、小学校に通う子どもはほぼ全員になって、字を読める人が増えました（アは正しくありません）。小林多喜二はプロレタリア文学の作家です。関東大震災の混乱の中で、うわさが広まり、多くの朝鮮人や中国人が殺害される事件が起きました。記述の採点のめやす：「家」「同じ」の両方を使って書けていれば正解。【14・15】

8【5・6・16ページ】

- (1) ソ連 (2) 大戦景気
(3) (例) 大戦で大きな被害が出たので、二度と同じ戦争をくり返さないようにするため。

①は1922年にできたソ連（4・5ページ）、④は大戦景気（10ページ）です。記述の採点のめやす：「被害」「くり返さない」の両方を使って書けていれば正解。【5・6・16】